

「宮城の未来ビジョン」における体系	政策名	10 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	政策担当部局	環境生活部、保健福祉部、経済商工観光部、教育部、警察本部
			評価担当部局	環境生活部

**政策の状況**

**政策で取り組む内容**

様々な凶悪犯罪の発生などにより、県民は治安に対し不安感を持っている。警察や関係行政機関と地域社会の連携、さらには住民による自主防犯組織との連携により、治安日本一を目指す。

また、日本人と外国人が互いの文化や習慣の違いを認め合いながら、地域社会の一員として共に安心して生活していけるよう、市町村、関係機関とも連携し、外国人に対する相談体制や情報提供体制等の充実を図る。加えて、留学等で県内に居住する外国人が、卒業後も県内を舞台として活躍できる環境の整備を図る。

**政策を構成する施策の状況**

施策番号	施策の名称	事業費 (決算(見込)額、施策の事業費合計)	目標指標等の状況	現況値 (測定年度)	達成度	施策評価
25	安全で安心なまちづくり	126,111千円	県民の体感治安(治安が良いと感じる県民の割合)	77.2% (平成20年度)	C	概ね順調
			安全・安心まちづくり地域ネットワーク数	9 (平成20年度)	A	
26	外国人も活躍できる地域づくり	7,733千円	多文化共生推進施策を実施している県内市町村の割合	97.2% (平成20年度)	A	概ね順調
			日本語講座開講数(市町村数)	13市町村 (平成20年度)	C	
			日本語講座開講数(箇所数)	25箇所 (平成20年度)	C	
			国際交流事業で海外と往来した延べ人数	2,682人 (平成20年度)	C	
		千円				

目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」  
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」  
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」  
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

**政策評価(総括)**

政策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由・各施策の成果の状況
各施策の成果等から見て、政策の進捗状況はどうなっているか。	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくりに向けて、2つの施策で取り組んだ。</li> <li>施策25では、平成19年度に引き続き「子どもの見守り活動の推進」を重点推進項目に掲げ、これまでに、地域における自主的防犯団体が新しく設立されたり、地域ネットワーク活動が活発化するなどの気運向上が図られ、概ね順調に進捗している。</li> <li>施策26では、災害時通訳ボランティアの登録人数、多文化共生シンポジウムの参加者数は目標値を下回ったものの、ボランティアについては、これまで登録の少なかった地域から人材を確保でき、シンポジウムについては、多くの参加者から評価の声が寄せられるなど、一定の有効性が確認された。また、外国人相談センターへの相談件数は目標値を大きく上回り、着実な進展が見られた。</li> <li>以上のことから、本政策の進捗状況は概ね順調であると考えられる。</li> </ul>

**政策を推進する上での課題等と対応方針** 施策の必要性・有効性・効率性の観点からの課題等と次年度の対応方針

・施策25の安全で安心なまちづくりについて、県民が主体となってお互いが支え合う地域社会、犯罪が起きにくい地域社会の実現に向け、「自らの安全は自らが守る」、「地域の安全は地域が守る」といった防犯意識を醸成するための啓発を継続して行うとともに、地域防犯に向けた住民活動、地域活動を支援し、普及に努める。

・施策26の外国人も活躍できる地域づくりについて、県民意識調査の結果で「わからない」の割合が高い。施策の展開には、県民の理解・協力が不可